



住宅用火災警報器の維持管理



◎住宅用火災警報器は、10年を目安に交換しましょう！

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の劣化や電池切れなどで、火災を感知しなくなるため、せっかく設置していても意味がなくなってしまいます。10年を目安に交換するようにしましょう。

記載例（一例）
製造年月
2017年11月



本体裏を確認してみましょう！
10年が交換の目安です。



◎いざという時のために、定期的に点検・清掃をしましょう。

点検方法



※点検の際に乾いた布でほこりを拭きましょう



◎古い警報器の交換・廃棄方法は？

- ① 警報器内の電池は取り外し、「乾電池」のゴミの日に出す。
- ② 電池を外した警報器本体は、市役所本庁や各支所などに設置してある「小型家電回収ボックス」に入れるか、「金属類」のゴミの日に出す。
※可能な限り、「小型家電回収ボックス」への投入をお願いします。
- ③ 高齢の方が1人で交換することは危ないので、親族やご近所の方に協力してもらいましょう。



1 本体を取り外す



2 電池を取り外す

電池コネクタから、コネクタを引き抜き、電池を取り出します。

